



学校評議員会開かれる 6/26(月)

4名の学校評議員さんに来校していただき、第1回の学校評議員会を開きました。

学校評議員とは、学校の教育活動の計画・実施、地域との連携の進め方等、学校運営についてご意見・ご助言をいただくために、校長が推薦し、桐生市教育委員会が委嘱する方々です。学校によって、人数は異なりますが、本校では平成13年から4名の学校評議員さんが委嘱されております。今年度のメンバーは、第12区長丹羽康博さん、広沢2丁目自治会長山藤貞夫さん、桜木公民館長阿久沢博幸さん、主任児童委員橋本恵一さんです。



当日は、各教室の授業を参観していただいた後、今年度の学校経営について校長が説明し、いろいろと貴重なご意見をいただきました。

「家庭や地域から信頼される学校」を目指し、学校評議員の皆様から頂戴したご意見を生かしながら、今後も学校経営に取り組んで参りたいと思います。

授業参観・学級懇談会・PTA総会では、お世話になりました

28日(水)・29日(木)・30日(金)の三日間にわたり、全クラスの授業参観・学級懇談会が開かれました。当日は、多くの保護者の皆様にご来校いただき児童の様子を参観していただきました。また、30日(金)には、PTA年度始め総会も開かれ、予定された議事について、すべて承認いただき無事終了いたしました。

どの学年の児童も2か月半は経ち、落ち着いた態度で熱心に授業に参加しておりました。



<1年1組 算数>



<2年1組 算数>



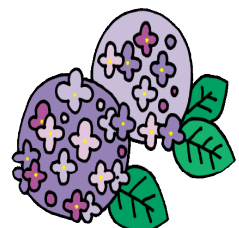
<5年1組 算数>



<1年2組 算数>



<PTA総会の様子>



「校旗を作ろうプロジェクト」始まる！！



絹製の校旗を作るための繭を育てる「校旗を作ろうプロジェクト」（群馬県世界遺産課主催）の取組が、3学年で始まりました。6日（火）に県より配布された蚕600匹と飼育セットを使い、1か月かけて育て、繭を収穫します。このプロジェクトは、群馬県が絹文化や絹遺産の理解を広めようと、一昨年度より取り組む「絹文化継承プロジェクト」の一環です。本校では、3年続けてプロジェクトに参加しています。今年は、運動会優勝旗を作るために、

本プロジェクトに参加しました。本校の取組を上毛新聞さん、桐生タイムスさんで取り上げていただき、すでに記事が新聞の載りました。

3年生が収穫した繭は、7月～8月中旬に安中市碓氷製糸農業協同組合で生糸にし、8月下旬から10月に桐生市の織物業者が生地を織って校旗を作るという工程で、優勝旗ができ上がります。今年の運動会には間に合いませんが、完成を楽しみにしてください。

このプロジェクトに参加することで、群馬県の絹文化という歴史を知るとともに、蚕の飼育を通して、命を育てることの大切さを感じ取ってほしいと思います。

読書を好きな児童を育む活動

本校では、毎週月曜日の朝、「朝の読書」の時間を設定し、それぞれの学級で自由読書に楽しんでいます。わずか10分の時間なので、じっくり読書を楽しむまでにはいきませんが、自分の好きな本を選び読書をする上で、とても貴重な時間だと思います。

6月12日（月）の朝、4～6年生の図書委員が、「低学年の子供たちに読み聞かせをしよう」という企画を実施しました。3人1組になり、1年～3年の各教室に出向き、読み聞かせを行いました。低学年の子どもたちは、図書委員のお兄さんやお姉さんが読んでくれる絵本に集中。みんな真剣に聴いていました。



< 3年リコーダー講習会 >



< 6年租税教室 >



< 6年情報モラル講習会 >



< 4年認知サポーター養成講座 >



専門家を招いての学習

各学年において、いろいろな専門家を招いて、〇〇講習会や〇〇教室等を開催しています。さすが専門家と思えるほど、多くの資料を提示しながら、子供たちに分かりやすいように説明してくれます。

終わって、校長室に戻って来た講師の方が、よくおっしゃる言葉は、「この学校の子供は、しっかり話が聞けますね」です。

多くの学校に出掛けている方に言われるとうれしいものですね。